



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月15日
上場取引所 東

上場会社名 大研医器株式会社
 コード番号 7775 URL <https://daiken-iki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 圭一
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 多久和 良 TEL 0725-30-3150
 定時株主総会開催予定日 2023年6月21日 配当支払開始予定日 2023年6月5日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月21日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	9,137	7.0	1,054	△8.4	1,053	△8.6	712	△14.3
2022年3月期	8,540	8.6	1,150	24.9	1,152	20.4	831	23.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	24.79	—	10.9	9.6	11.5
2022年3月期	28.93	—	13.2	10.6	13.5

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	11,013	6,597	59.7	228.91
2022年3月期	10,920	6,446	59.0	224.13

(参考) 自己資本 2023年3月期 6,576百万円 2022年3月期 6,438百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	989	△210	△781	2,516
2022年3月期	1,133	△196	△589	2,518

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 9.00	円 銭 —	円 銭 11.00	円 銭 20.00	百万円 574	% 69.1	% 9.1
2023年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00	574	80.7	8.8
2024年3月期(予想)	—	9.00	—	11.00	20.00		63.8	

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,650	4.4	550	△9.1	550	△9.1	380	△11.5	13.23
通期	9,600	5.1	1,300	23.3	1,300	23.4	900	26.4	31.33

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	31,840,000株	2022年3月期	31,840,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期	3,111,561株	2022年3月期	3,111,559株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	28,728,440株	2022年3月期	28,728,441株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載する予定です。

また、当社は、2023年6月8日（木）に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(持分法損益等)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. 補足情報	13
生産、受注及び販売の実績	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による停滞状況から行動制限の緩和により、社会経済活動の正常化が着実に進み、景気は概ね回復基調で推移いたしました。しかしながら、資源価格の高騰、急激な円安の進行等による物価上昇等、企業を取り巻く環境は一層厳しさを増しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、当社を取り巻く事業環境は、ワクチン接種の普及拡大、医療現場における感染防止策の定着により、回復基調から正常化へ進展してまいりました。今後も感染防止対策を徹底しながら医療提供体制の確保には最善の努力が継続される中、物資の高騰や医療従事者の慢性的な人手不足等、各医療機関の経営環境はより一層厳しさが増えてきており、医療現場においてより効率的で効果的な医療サービスを提供できるような製品供給体制が望まれております。

このような状況のもと、当社は、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、医療現場と密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに独創的な製品の研究開発活動の強化に取り組んでまいりました。

当事業年度の経営成績の分析は次のとおりであります。

① 売上高

売上高は、9,137百万円（前年同期比7.0%増）となりました。これは主として、手術件数の堅調な推移により、主力製品である吸引器関連（フィットフィックス、キューインポット）および注入器関連（シリンジェクターPCA セット、バルーンジェクターPCA セット）における販売数量の堅調な伸びに加えて、昨年度本格上市した新製品「エイミーPCAセット（注入器関連）」が医療現場で好評を得ており、販売が好調に推移したこと等によるものです。

② 営業利益

営業利益は、1,054百万円（前年同期比8.4%減）となりました。これは主として、資源価格の高騰、急激な円安の進行及び物流コストの高騰等による製造原価の上昇に対して、主力製品の売上高の増加や研究開発費等の販売管理費の削減により利益増加があったものの、滞留していた在庫に対する一過性の棚卸資産評価損の計上により、売上総利益が減少したこと等によるものです。

③ 経常利益

経常利益は、1,053百万円（前年同期比8.6%減）となりました。これは主として、営業利益が減少したこと等によるものです。

④ 当期純利益

当期純利益は、712百万円（前年同期比14.3%減）となりました。これは主として、経常利益が減少したこと等によるものです。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

流動資産は、前事業年度末に比べて66百万円増加し、6,638百万円となりました。これは主として、原材料が77百万円、受取手形が27百万円それぞれ減少したものの、電子記録債権が144百万円、製品が31百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて26百万円増加し、4,374百万円となりました。これは主として、繰延税金資産が70百万円、差入保証金が11百万円それぞれ増加したものの、有形固定資産が49百万円、無形固定資産が5百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

② 負債

流動負債は、前事業年度末に比べて218百万円増加し、3,369百万円となりました。これは主として、買掛金が77百万円、1年内返済予定の長期借入金が62百万円、電子記録債務が41百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ276百万円減少し、1,046百万円となりました。これは主として、長期借入金が266百万円減少したこと等によるものです。

③ 純資産

純資産は、前事業年度末に比べて151百万円増加し、6,597百万円となりました。これは主として、当期純利益を712百万円計上し、配当金を574百万円支払ったことによる利益剰余金の差引増加等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べて2百万円減少し、2,516百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は989百万円（前期比144百万円減）となりました。これは主として、税引前当期純利益を1,025百万円、減価償却費を267百万円それぞれ計上したものの、法人税等を379百万円支払ったこと等によるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は210百万円（前期比14百万円増）となりました。これは主として、有形固定資産の取得により、197百万円支出したこと等によるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は781百万円（前期比191百万円増）となりました。これは主として、長期借入金の差引返済額として204百万円支出し、配当金を565百万円支払ったこと等によるものです。

(4) 今後の見通し

当社を取り巻く経営環境につきましては、物資の高騰や医療従事者の慢性的な人手不足等、各医療機関の経営環境がより一層厳しさを増す中で、医療現場ではより効率的で効果的な医療サービスを提供できる製品供給体制が望まれております。

このような状況の中で、当社は「現在の医療を見つめ明日の医療の創造を通して社会に貢献する」ことを企業理念として掲げ、医療現場においてより効率的で効果的な医療サービスを提供できるよう医療現場と密着した独創的な製品開発の推進とその製品供給のための効率的生産活動及び販売促進活動に邁進してまいります。

次期の見通しにつきましては、以下のとおり見込んでおります。

売上面においては、手術件数の堅調な推移により、主力製品である吸引器関連（フィットフィックス、キューインポット）および注入器関連（シリンジェクターPCA セット、バルーンジェクターPCA セット）における販売数量の堅調な伸びを見込むとともに、医療現場で好評を得ている新製品「エイミーPCA セット（注入器関連）」について、急性期の医療機関や在宅市場などへの拡販に引き続き注力してまいります。

利益面につきましては、円安基調や原油価格並びに物流コストの高騰等による原価上昇の影響が依然続くと見込まれることに加えて、人的投資の拡大、事業領域の拡大及び海外事業の育成等、中長期的な企業価値の向上のための販売管理費の増加があるものの、前期に計上した一過性の棚卸資産評価損がなくなることに加え、主力製品を中心とした販売数量の増加に伴う利益増加を見込むとともに徹底した原価改善活動の推進等により、増益を見込んでおります。

以上のことから、次期の業績見通しは、売上高9,600百万円（前期比5.1%増）、営業利益1,300百万円（前期比23.3%増）、経常利益1,300百万円（前期比23.4%増）、当期純利益900百万円（前期比26.4%増）を計画しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最重要経営課題のひとつと位置づけ、将来にわたる事業展開のための内部留保の確保と経営成績に裏づけされた成果の配分を中間配当及び期末配当として年2回行うことを基本方針としております。また、配当性向につきましては、安定配当をベースに60%以上の利益還元を基本方針としております。

内部留保資金の用途につきましては、今後の有望な事業分野に投下し、さらに高い利益性と成長性を実現することで企業価値の増大を図り、投資価値の拡大とさらなる利益還元につなげてまいりたいと考えております。

なお、当社は、株主の皆様への機動的な利益還元を可能とするため、法令に別段の定めのある場合を除き、取締役会の決議によって会社法第459条第1項各号に定める剰余金の配当をすることができる旨定款に定めております。

当期の期末配当金につきましては、2023年5月15日開催の取締役会決議により、1株当たり11円を実施させていただきます。すでに2022年12月1日に実施済みの中間配当金1株当たり9円とあわせまして、年間配当金は1株当たり20円となります。

また、次期の年間配当金は20円（中間配当金9円、期末配当金11円、予想配当性向63.8%）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,518,589	2,516,212
受取手形	130,420	102,763
電子記録債権	1,085,208	1,229,646
売掛金	1,215,746	1,198,117
製品	973,067	1,004,266
仕掛品	72,279	88,420
原材料	499,189	422,011
前払費用	19,796	18,958
その他	58,227	58,259
貸倒引当金	△91	△94
流動資産合計	6,572,435	6,638,560
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,937,619	1,861,600
構築物(純額)	1,382	1,020
機械及び装置(純額)	151,205	163,717
車両運搬具(純額)	0	1,882
工具、器具及び備品(純額)	161,062	95,780
土地	1,703,670	1,703,670
リース資産(純額)	33,557	23,394
建設仮勘定	130,902	219,171
有形固定資産合計	4,119,400	4,070,238
無形固定資産		
ソフトウェア	9,604	4,303
ソフトウェア仮勘定	427	—
電話加入権	5,103	5,103
無形固定資産合計	15,135	9,406
投資その他の資産		
出資金	10	10
長期前払費用	2,128	1,871
繰延税金資産	160,449	230,596
差入保証金	40,846	52,323
会員権	13,100	13,100
生命保険積立金	8,797	8,797
長期未収入金	13,150	13,150
貸倒引当金	△24,650	△24,650
投資その他の資産合計	213,831	295,198
固定資産合計	4,348,367	4,374,843
資産合計	10,920,803	11,013,404

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	13,336	7,580
電子記録債務	546,724	588,016
買掛金	443,847	521,621
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	597,826	659,972
未払金	138,601	141,902
リース債務	11,194	9,875
未払費用	70,899	70,312
未払法人税等	212,541	242,047
未払消費税等	76,182	44,405
預り金	11,348	11,697
設備関係支払手形	5,967	20,293
設備関係電子記録債務	13,744	38,292
その他	9,022	13,448
流動負債合計	3,151,237	3,369,464
固定負債		
長期借入金	1,280,033	1,013,395
リース債務	26,142	16,266
長期預り保証金	14,604	14,624
その他	2,654	2,507
固定負債合計	1,323,434	1,046,792
負債合計	4,474,671	4,416,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,875	495,875
資本剰余金		
資本準備金	400,875	400,875
資本剰余金合計	400,875	400,875
利益剰余金		
利益準備金	23,750	23,750
その他利益剰余金		
別途積立金	690,000	690,000
繰越利益剰余金	6,654,845	6,792,339
利益剰余金合計	7,368,595	7,506,089
自己株式	△1,826,582	△1,826,583
株主資本合計	6,438,763	6,576,256
新株予約権	7,368	20,890
純資産合計	6,446,131	6,597,146
負債純資産合計	10,920,803	11,013,404

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	8,540,443	9,137,102
売上原価		
製品期首棚卸高	891,412	973,067
当期製品製造原価	4,941,661	5,532,957
当期商品仕入高	85,882	157,585
外注取付工事費	8,399	8,000
合計	5,927,356	6,671,610
他勘定振替高	97,806	60,402
製品期末棚卸高	973,067	1,004,266
売上原価合計	4,856,482	5,606,941
売上総利益	3,683,960	3,530,161
販売費及び一般管理費	2,533,081	2,475,701
営業利益	1,150,878	1,054,459
営業外収益		
受取利息	0	0
受取手数料	49	357
受取補償金	1,537	672
為替差益	1,164	464
未払配当金除斥益	796	471
雑収入	1,689	1,222
営業外収益合計	5,236	3,190
営業外費用		
支払利息	3,737	3,965
その他	3	48
営業外費用合計	3,740	4,013
経常利益	1,152,374	1,053,635
特別損失		
固定資産除却損	1,037	28,609
特別損失合計	1,037	28,609
税引前当期純利益	1,151,337	1,025,025
法人税、住民税及び事業税	313,928	383,109
法人税等調整額	6,352	△70,146
法人税等合計	320,280	312,962
当期純利益	831,056	712,062

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費	※1	3,874,337	78.4	4,426,616	79.5
II 労務費		487,768	9.9	492,802	8.8
III 経費		580,056	11.7	649,536	11.7
当期総製造費用		4,942,162	100.0	5,568,956	100.0
期首仕掛品棚卸高		86,665		72,279	
合計		5,028,828		5,641,236	
期末仕掛品棚卸高		72,279		88,420	
他勘定振替高	※2	14,886		19,858	
当期製品製造原価		4,941,661		5,532,957	

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (千円)	当事業年度 (千円)
減価償却費	232,737	191,607
荷造運賃費	173,790	259,114
工場消耗品費	31,541	35,154
修繕費	14,252	26,475

※2 他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (千円)	当事業年度 (千円)
販売費及び一般管理費	2,092	2,304
その他	12,794	17,553
計	14,886	19,858

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、総合原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金	利益剰余金 合計	
				別途積立金	繰越利益剰 余金		
当期首残高	495,875	400,875	400,875	23,750	690,000	6,398,357	7,112,107
当期変動額							
剰余金の配当						△574,568	△574,568
当期純利益						831,056	831,056
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	256,487	256,487
当期末残高	495,875	400,875	400,875	23,750	690,000	6,654,845	7,368,595

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合 計		
当期首残高	△1,826,582	6,182,275	—	6,182,275
当期変動額				
剰余金の配当		△574,568		△574,568
当期純利益		831,056		831,056
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			7,368	7,368
当期変動額合計	—	256,487	7,368	263,856
当期末残高	△1,826,582	6,438,763	7,368	6,446,131

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
					別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	495,875	400,875	400,875	23,750	690,000	6,654,845	7,368,595
当期変動額							
剰余金の配当						△574,568	△574,568
当期純利益						712,062	712,062
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	137,494	137,494
当期末残高	495,875	400,875	400,875	23,750	690,000	6,792,339	7,506,089

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合 計		
当期首残高	△1,826,582	6,438,763	7,368	6,446,131
当期変動額				
剰余金の配当		△574,568		△574,568
当期純利益		712,062		712,062
自己株式の取得	△0	△0		△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			13,521	13,521
当期変動額合計	△0	137,493	13,521	151,015
当期末残高	△1,826,583	6,576,256	20,890	6,597,146

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,151,337	1,025,025
減価償却費	314,423	267,295
株式報酬費用	7,368	13,521
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	3
売上値引引当金の増減額(△は減少)	△179,346	—
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	3,737	3,965
売上債権の増減額(△は増加)	156,304	△99,151
棚卸資産の増減額(△は増加)	△122,625	29,839
仕入債務の増減額(△は減少)	46,181	113,308
固定資産除却損	1,037	28,609
未収入金の増減額(△は増加)	1,401	△9,714
未払金の増減額(△は減少)	△8,701	240
未払費用の増減額(△は減少)	△108,601	△586
未払又は未収消費税等の増減額	68,092	△31,776
その他	25,499	31,810
小計	1,356,112	1,372,392
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△3,989	△3,762
法人税等の支払額	△218,500	△379,472
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,133,623	989,156
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△202,502	△197,949
有形固定資産の売却による収入	912	—
無形固定資産の取得による支出	△714	△1,100
差入保証金の差入による支出	△480	△12,065
差入保証金の回収による収入	13,026	588
資産除去債務の履行による支出	△6,479	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△196,237	△210,526
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	700,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△704,034	△604,492
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△574,296	△565,320
リース債務の返済による支出	△11,108	△11,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△589,439	△781,007
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	347,946	△2,377
現金及び現金同等物の期首残高	2,170,643	2,518,589
現金及び現金同等物の期末残高	2,518,589	2,516,212

(5) 財務諸表に関する注記事項**(継続企業の前提に関する注記)**

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社の事業は、医療機器等の製造販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	224.13円	228.91円
1株当たり当期純利益	28.93円	24.79円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	831,056	712,062
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	831,056	712,062
普通株式の期中平均株式数(株)	28,728,441	28,728,440
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2021年9月15日開催の取締役会決議による第7回新株予約権新株予約権の数 4,850個 (普通株式 485,000株)	2021年9月15日開催の取締役会決議による第7回新株予約権新株予約権の数 4,300個 (普通株式 430,000株)

(注) 3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	6,446,131	6,597,146
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	7,368	20,890
(うち新株予約権(千円))	(7,368)	(20,890)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	6,438,763	6,576,256
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	28,728,441	28,728,439

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

当社の事業は、医療機器等の製造販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の実績につきましては、当社の製品群別に記載しております。

① 生産実績

製品群	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
吸引器関連	3,520,030	+14.4
注入器関連	1,393,005	+9.8
電動ポンプ関連	122,933	+9.6
手洗い設備関連	255,896	△0.6
その他	241,089	+7.5
合計	5,532,957	+12.0

(注) 金額は製造原価によっております。

② 受注実績

当社は、見込生産を行っているため、該当事項はありません。

③ 販売実績

製品群	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
吸引器関連	5,820,475	+5.5
注入器関連	2,008,830	+8.0
電動ポンプ関連	248,848	+18.4
手洗い設備関連	585,109	+2.4
その他	473,838	+23.8
合計	9,137,102	+7.0